

Discovery H. S. Kanzaki

2020. 12. 4

第463号

兵庫県立神崎高等学校

TEL 0790-32-0209



ディスカバリー

ハイ スクール

カンザキ

夢を発見し実現できる学校

校内美化活動

11月18日(水)に美化活動を行いました。例年は運動部の生徒など、大人数で実施しているのですが、今回は、新型コロナウイルス感染防止のため、ボランティア部、保健美化委員会の生徒16名という少人数で校内の溝や落ち葉の清掃を行いました。



中庭や武道場周辺、体育館周辺の溝掃除を行いました。1時間程度の清掃でしたが、生徒たちは普段使っている場所をきれいにしようと、一生懸命取り組んでくれました。「この落ち葉で焼き芋したいな〜」という声も聞こえてきて、楽しみながら清掃に取

り組んでいる様子が見え、かえりました。

溝掃除は力仕事が多く、清掃の大変さを知ること、普段から掃除していたいていの方への感謝の気持ちを改めて確認することができたのではないかと思います。

小高連携授業

11月17日(火)に3年生のスポーツコミュニケーション選択者が、神崎小学校の協力のもと小高連携授業を行いました。神崎小学校の6年生を対象に、「ダンス」の授業を行いました。



3つのグループに分かれ、それぞれの曲に合わせて指導を行いました。小学生は初めは思うように踊

れない様子でしたが、少しずつ踊れるようになり、最後は笑顔であふれていました。小高連携授業まで短い準備期間でしたが、生徒達が真剣に指導をしていく姿が印象的でした。指導を受ける立場からする立場になり、生徒達は貴重な経験をすることができました。この経験をこれからの生活の中で是非いかしてもらいたいです。



人権・青少年健全育成合同大会

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、神河町グリーンデルホールでの大会開催は中止となりましたが、神河町ケーブル

テレビに収録していただき、主張の様子が放送されることとなりました。本校からは、3年生の佐谷菜耶さんが「温もりを感じる場所」と題して主張を行いました。

神崎高校での3年間の生活を振り返り、友人が自分にかけてくれた優しい言葉や、日々自分を支えてくれた家族に対して「温もり」を感じ、感謝しているということ、そしてこれから社会人になる自分が周りの人に対して「温もり」を与えられるような人間になりたいという主張を行いました。

初めてのテレビ収録でとても緊張していましたが、堂々と自分の主張を行うことができました。



ちょっと一言 ◇コロナ禍の中、ボランティア部と保健美化委員だけの活動となりましたが、生徒たちは皆よくがんばりました。今年も神崎小学校において小高連携授業を実施することができました。生徒たちは感染拡大防止に精一杯つとめながら、子どもたち一人一人に目を配り、ダンスの指導を行いました。今年の主張では、学校や家庭で、友人や教員そして家族から、ありあまるほどの「思いやり」や「愛」をもらっていることを語ってくれました。(校長より)



校長メッセージ
(HP)はこちら
から↑